

健康福祉委員会資料

(病院局関係)

1 事業概要説明

資料1 平成24年度事業概要

(参考資料)

- ・川崎市立川崎病院パンフレット
- ・川崎市立井田病院パンフレット
- ・川崎市立多摩病院パンフレット

平 成 2 4 年 度

事 業 概 要

川崎市病院局

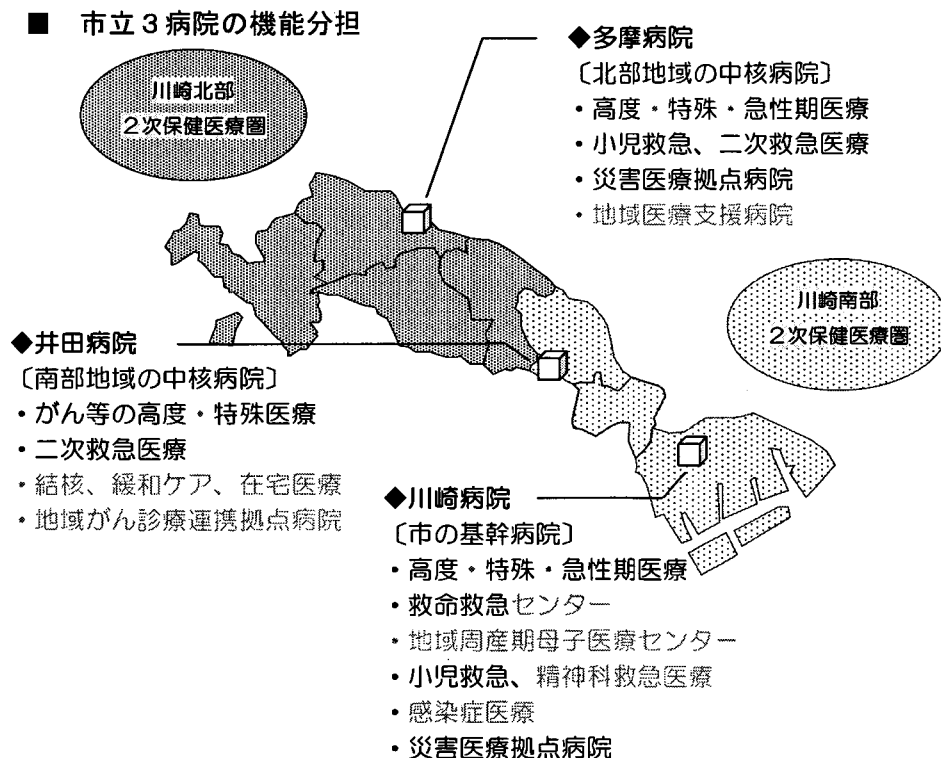
病 院 局 事 業 概 要

1	病院事業の施策	1	ページ
2	組織機構図	10	ページ
3	本庁業務概要	12	ページ
4	職員定数	13	ページ
5	病院事業の沿革	14	ページ
6	市立病院の概要	16	ページ
7	業務状況	19	ページ
8	平成24年度予算実施計画	21	ページ

1 病院事業の施策

(1) 市立病院の機能

川崎病院は市の基幹病院として、井田病院及び多摩病院は中核病院として、公共の福祉の増進と経済性の発揮を基本としながら、高度・特殊・急性期医療や、救急医療等を継続的かつ安定的に提供するとともに、災害、研修教育等の対応を含めた医療行政施策を推進し、地域医療機関との連携を進めることで、医療資源の有効活用及び本市の医療水準の向上に寄与しています。本市の病院事業は、これら3病院それぞれの特色を活かし、連携を緊密にしながら、多様化する市民の医療ニーズに的確に対応できる体制を整えています。



ア 川崎病院

昭和11年12月に伝染病院として開設され、以来、総合的な病院として、平成12年4月に全面改築を終え、高度・特殊・急性期医療、救急医療を中心に、小児から成人・高齢者・妊産婦等の医療を提供し、市内唯一の感染症病床を有するとともに、南部地区における災害時医療の拠点としての役割を担うほか、臨床研修指定病院として医師の育成を行うなど、地域医療水準の向上に寄与しています。

イ 井田病院

昭和24年3月に結核・伝染病院として開設され、現在は地域がん診療連携拠点病院として、増大するがん等の成人疾患医療、救急医療、緩和ケア医療、市内唯一の結核医療などを担っています。また、再編整備により、最新の医療器械の導入など医療機能の充実を図るほか、臨床研修指定病院として医師の育成を行うなど、地域医療水準の向上に寄与しています。

ウ 多摩病院

平成18年2月にJR南武線登戸駅に隣接する多摩区宿河原1丁目に開設され、北部地域に不足する小児救急を含めた救急医療を中心に、高度・特殊・急性期医療、アレルギー医療などを提供するとともに、救急災害医療センターを併設し、災害医療拠点病院としての役割を担っています。また、地域医療支援病院として、地域のかかりつけ医等と連携し、これを支援しながら地域全体の医療供給体制の向上を図っています。

本病院は、指定管理者制度を採用し、学校法人聖マリアンナ医科大学がその運営管理を行っています。

(2) 病院事業の経営形態

自治体病院を取り巻く経営環境は、国の医療費抑制政策や地方公共団体の財政事情等により大変厳しい状況にあり、経営改善や経営基盤の強化が求められています。

そのため、本市においては、経営組織の効率化と経営責任の明確化を図るため、平成17年4月から病院事業に地方公営企業法を全部適用するとともに、人事・予算権限を持つ病院事業管理者を設置し、迅速な意思決定や機動的な業務執行など、企業性を発揮した病院運営体制としております。

(3) 主な施策・事業

ア 「第3次川崎市病院事業経営健全化計画」の推進

病院事業では、「第2次川崎市病院事業経営健全化計画」（計画期間：平成21年度～平成23年度）に基づき、市立病院の経営健全化に向けた取組を推進してきました。しかし、国において社会保障制度や消費税率の

見直しが見込まれるなど、社会経済環境が不透明かつ困難な状況にある中、市立病院は、救急医療などの政策的医療、小児・周産期医療や高度・特殊医療などを継続的かつ安定的に提供することにより、市民の生命と健康を守るという使命を果たすことが求められており、更なる医療の質の向上と経営基盤の強化を図る必要があることから、市立病院の運営方針となる「第3次川崎市病院事業経営健全化計画」（計画期間：平成24年度～平成26年度）を平成24年3月に策定しました。

平成24年度は平成23年度における経営健全化の取組状況について、引き続き外部の学識経験者等からなる「川崎市立病院運営委員会」による点検・評価を実施します。

イ 地域周産期母子医療センターの運営〔川崎病院〕

「安心してお産ができる体制づくり」が社会的に要請されている中、川崎地区地域保健医療計画によると、全出生数の約3～5%が集中治療を必要とするハイリスク妊娠・新生児とされていることから、周産期救急医療の充実が求められています。



このような状況の中、川崎病院では、平成13年1月から一時的に休止していた新生児集中治療管理室（NICU）を平成21年4月から1床増床して6床で再開するとともに、平成22年4月には、地域周産期母子医療センターの認定を受けました。本年度も同センターの安定的な運営を図り、市内周産期救急医療体制の充実に努めてまいります。

（ア）運営体制（平成24年4月1日現在）

医師 産科・婦人科11人／新生児科4人

助産師・看護師 産科病棟30人／NICU14人／GCU（NICUの後方支援病床）14人

（イ）病床数（平成24年4月1日現在）

産科 44床、NICU 6床、GCU 13床

（ウ）延入院患者数（平成23年度）

NICU 2,007人／GCU 2,594人

周産期救急患者受入件数 産科49件／新生児科69件

ウ 救命救急センターの運営〔川崎病院〕

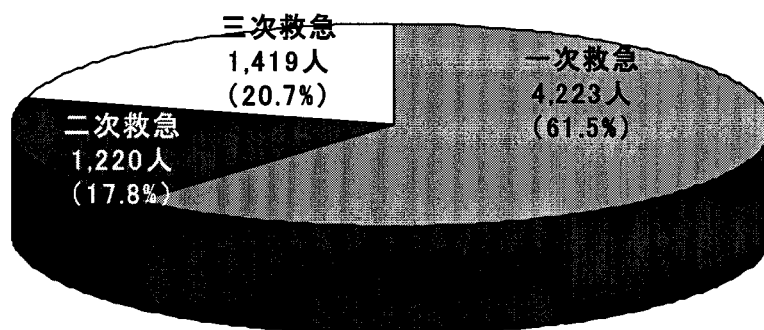
川崎南部保健医療圏における重症救急患者の診療に当たるため、平成18年4月に川崎病院救命救急センターを開設しました。

また、平成20年4月から、新たに北米型の救急医療システム（ER）を取り入れ、原則として受入れを断らない運営を目指し、平成23年度におきましては6,862人（1日当たり約18.7人）の受入れを行いました。

平成24年度も引き続き、重症救急患者の受入れを積極的に行ってまいります。

■ 川崎病院救命救急センターの運営状況（平成24年4月1日現在）

- （ア）体制 医師 常勤13人、非常勤4人
看護師 常勤68人、臨時職員1人
- （イ）施設規模 20床（ICU 4床、救急病床 16床）
- （ウ）受入状況（平成23年度実績）



救命救急センター受入人数	6,862人 (1日平均18.7人)
三次救急人数	1,419人
三次救急のうち心肺停止	368人
心肺停止のうち蘇生成功	78人

エ 災害時医療の提供〔川崎病院・多摩病院〕

川崎病院及び多摩病院は、神奈川県災害医療拠点病院として指定を受けており、災害時における重症患者の受入れや救命医療、広域的な搬送の対応などを行うこととされています。

また、川崎病院では、市内で発生した災害や事故等の現場に医師等の医

療チームを派遣する「市内救急医療派遣事業（通称：Kawasaki ONE PIECE）」を平成２０年６月から開始し、平成２１年７月にはより大規模な災害等に派遣する川崎ＤＭＡＴ（災害医療派遣チーム：Disaster Medical Assistant Team）の１番目の設置病院として指定を受けました。さらに、平成２３年３月には、神奈川県内外で発生した大規模な災害や事故等の現場に医師等の医療チームを派遣する神奈川ＤＭＡＴ指定病院の指定を受けました。

東日本大震災の際には、川崎病院からは東京電力福島第一原子力発電所事故に対応するため、診療放射線技師を派遣して放射線測定等に従事させるとともに、厚生労働省からの要請により、想定される有事に備えて福島県いわき市内にＤＭＡＴとして医師及び診療放射線技師を派遣し、平時はいわき市立総合磐城共立病院の支援に従事しました。

オ 井田病院再編整備の推進

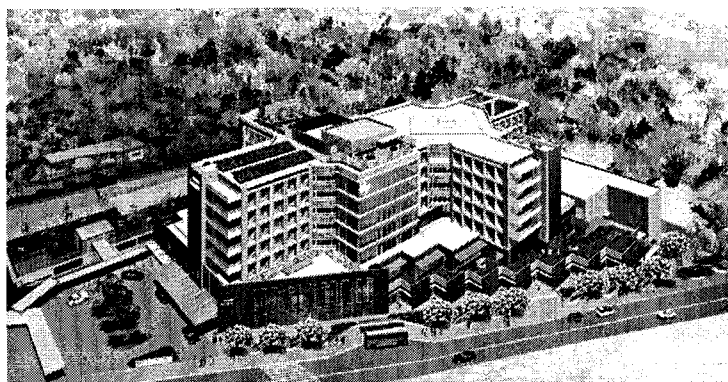
老朽化の著しい井田病院は、がん等の高度・特殊な医療の提供、成人疾患医療の強化、二次救急医療の充実など、医療機能の強化を基本方針として改築整備計画を推進しています。

平成２１年度の改築工事におきましては、結核病棟仮設工事、１号棟解体工事等を施工し、平成２２年度は、地下工事から順次、地上躯体工事を施工するとともに、総合医療情報システムの二次開発にも着手いたしました。平成２３年度は、診療開始に向けた器材の調達を行うとともに、前年度に引き続き、地上躯体工事やシステムの二次開発を推進し、新病棟を一部完成させました。

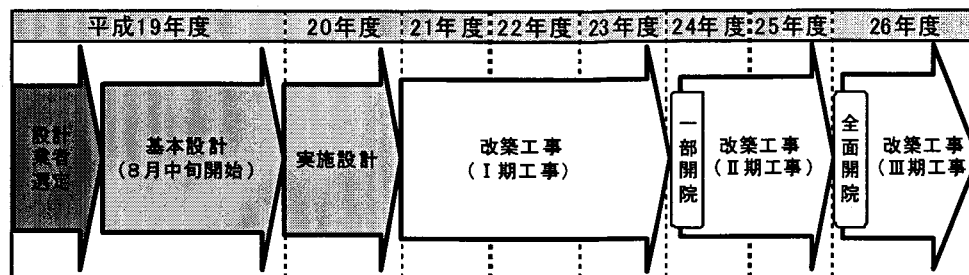
本年度は、一部完成した新病棟で診療を開始し、２号棟解体工事や地下工事などを施工してまいります。

また、工事の施工に際しては、病院運営や工事の周辺環境に与える影響が最小限になるよう工事監理を徹底してまいります。

■ 完成予想図



■ 建替スケジュール（予定）



カ 地域がん診療連携拠点病院の機能強化〔井田病院〕

地域がん診療連携拠点病院は、質の高いがん医療体制を確保するとともに、患者等に対する相談支援機能を強化する等の観点から、2次医療圏に1か所程度整備することとされています。

井田病院は、平成18年8月に地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、平成22年4月には同病院の指定更新を受けました。今後とも、地域がん診療連携拠点病院として、我が国に多い五大がん（肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん）をはじめ、子宮がん、前立腺がんの治療、外来化学療法の充実、緩和ケアの提供などを行うとともに、がん医療に携わる医師等を対象とした緩和ケア等の研修や症例検討会、市民公開講座の開催、がんに関する相談支援の実施など、地域のがん医療水準の向上や患者サービスの向上に努めてまいります。

キ 緩和ケアの推進〔井田病院〕

井田病院かわさき総合ケアセンターは高齢社会を支える総合的地域ケアの拠点として、緩和ケア・高齢者ケア・在宅ケア・地域連携をキーワードとし、保健・医療・福祉の連携による多機能・複合的サービスの提供を目的として平成10年10月に設置されました。

緩和ケアでは、医師、臨床心理士、看護師、栄養士、薬剤師などの緊密な連携によるチーム医療・ケアを行っており、がんに苦しむ患者さんに対して苦痛や症状を和らげ、生活の質(QOL)を高めることにより、患者さんやその家族の身体から心までのケアを提供しています。

在宅ケアでは、難病や終末期、また人工呼吸器などの医療依存度の高い患者さんを対象に、ケアマネジメントや訪問看護・往診を行い、在宅での生活、治療、療養ができるよう支援しています。また、地域の開業医の在

宅ケア患者を対象に、夜間休日、病状悪化時等に診療対応を行うことにより、地域での在宅ケアを支援しています。

今後、急速に進展する高齢社会のニーズに応えるため、緩和ケア・在宅ケアの推進に努めてまいります。

■ 緩和ケア病棟の運営状況（平成24年4月1日現在）

（ア）体制 医師 常勤3人、非常勤6人
看護師 常勤19人
看護助手 臨時職員1人

（イ）施設規模 20床

（ウ）受入状況（平成23年度実績）

延入院患者数 6,826人

■ 在宅ケアの運営状況（平成24年4月1日現在）

（ア）体制 医師 常勤3人、非常勤6人（兼務）
看護師 常勤4人

（イ）実施状況（平成23年度速報値）

延訪問診療件数	1,377件	延患者数	652人
延訪問看護件数	862件	延患者数	216人

ク 入院・外来自己負担未収金のコンビニエンスストア払いの利用促進

〔川崎病院・井田病院〕

川崎市が全庁的に取組んでいる滞納債権対策の一環として、平成22年3月1日から、川崎病院と井田病院の入院・外来自己負担未収金についてコンビニエンスストア（提携コンビニ14社）でも納付できることといたしました。従来までの「病院での直接支払い」及び「銀行振込み」に「コンビニエンスストア払い」を加えることによって、滞納者の支払い手段を拡大しました。平成22年度から取り組んでいる医事業務委託業者の活用等による電話及び文書催告の強化と併せ、滞納債権の縮減に努めてまいります。

ケ 病院モニター制度の運用〔川崎病院・井田病院〕

平成23年度から、川崎病院及び井田病院において、市民から信頼される病院づくりの実現に資することを目的として、市立病院の運営や患者サービスの向上に関する意見、要望等を広く聴取するため、病院モニター制度を導入しました。

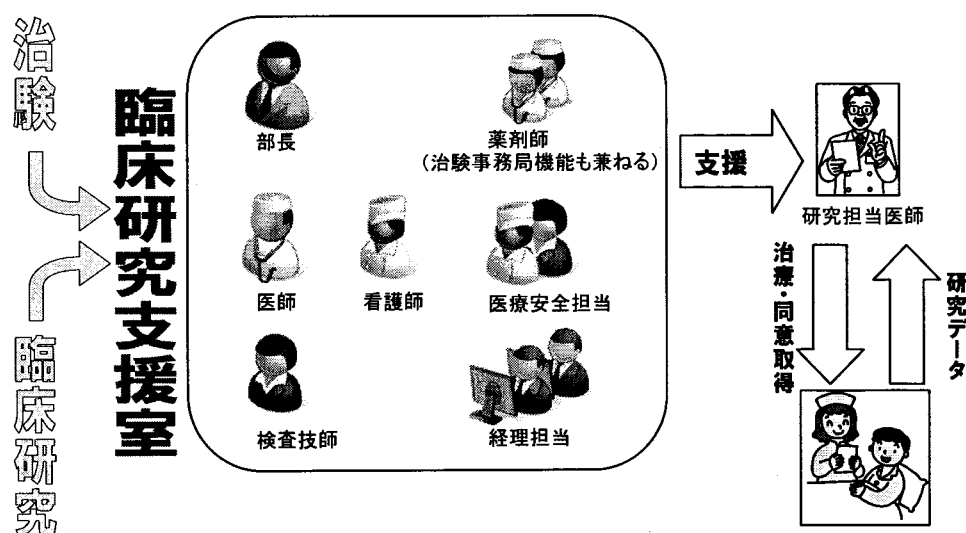
病院モニターは、当該病院の患者又はその御家族、病院ボランティア、町内会関係者、医療関係者等で構成されています。病院モニターと病院職員からなる病院モニター会議で、病院運営全般及び患者サービスの向上について意見交換した後、改善取組案を検討・決定し、ホームページ上で公表します。

コ 臨床研究支援室及び臨床研究への取組について

院内における臨床研究を一元管理し、厚生労働省が定める指針に基づいた臨床研究の実施を目的として、平成22年4月1日、川崎病院内に臨床研究支援室を設置しました。

臨床研究支援室の設置は、指針に基づいた臨床研究が実施できるだけでなく、院内における臨床研究が活性化され、川崎病院が医師にとって魅力ある病院となるとともに、先進的な臨床研究の受入れが可能となります。

■ 臨床研究支援室イメージ図



また、川崎病院及び井田病院は「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区」に指定された川崎市殿町区域における実験動物中央研究所との共同研究に参画しています。これらの取組により、がん・生活習慣病などの領域における医学の発展に寄与するだけでなく、優秀な医師の確保や市立病院の医療水準の向上に努めてまいります。

サ 助産師・看護師確保対策の強化について〔川崎病院・井田病院〕

全国的な医師、助産師、看護師不足の中で、看護師の確保は、市立病院として医療や看護の質を低下させないためにも特に重要な課題と捉え、平成24年度においては、昨年度と同様、採用案内パンフレット作成、雑誌広告、ホームページの強化、全国の看護師養成学校に対する学校訪問、川崎病院及び井田病院における就職説明会・病院見学会、新卒者を対象とした春季・夏季インターンシップ、東京、地方会場等での合同病院説明会、採用者に対する合格者説明会を実施してまいります。

また、手厚い看護の実施や看護職員の勤務環境の改善を目的とする7対1看護配置基準について、川崎病院においては平成24年度中に、井田病院においては平成27年度中の導入を目指し、今後も引き続き積極的な確保対策を図ってまいります。

■ 平成23年度 助産師・看護師確保のための取組実績

日程	取組内容
4月	雑誌広告、ホームページ、採用案内パンフレット作成
5月～8月	看護師養成学校訪問 115校（延べ120校） 看護師養成学校就職ガイダンス参加（13施設）
7月30日～ 8月12日	看護学生インターンシップ実施（参加者43人）
5月～7月 （計5回）	「合同病院説明会」参加（ブース来訪者416人）
4月～10月 （計6回）	就職説明会・病院見学会実施（参加者102人）
12月・1月	合格者説明会（参加者63人）
年間	個別の病院見学等（29人）

■ 平成23年度 助産師・看護師採用選考の応募実績等

	応募者数	採用者数
助産師	3人	3人
看護師	152人	101人
計	155人	104人

2 組織機構図(平成24年4月1日現在)

病院事業管理者

秋月 哲史 (内)70000

病院局長

三浦 政良 (内)70100

総務部長

柄崎 智 (内)70200

庶務課長

担当課長[看護調整](兼務)

山田 英正 (内)70210

柳井田 恭子 (内)70230

経営企画室長

稲葉 信彦 (内)70500

担当課長[経営企画]

担当課長[経理]

担当課長[多摩病院運営管理]

担当課長[井田病院再編整備]

佐藤 佳哉 (内)70510

澁谷 雅彦 (内)70520

内藤 聡夫 (内)70540

本山 実 (内)70550

川崎病院長

堀内 行雄

(代)233-5521

事務局長

高井 敏雄

庶務課長

医事課長

高橋 智常

竹田 和也

担当部長[総務調整]

神山 隆

担当理事・副院長

(事務取扱)

増田 純一

副院長

成松 芳明

竹中 信夫

齊田 和子

医療安全管理室長(兼務)

成松 芳明

担当部長(兼務)

神山 隆

担当課長

稲部 真由美

感染対策室長(兼務)

坂本 光男

担当理事・婦人内視

鏡科部長(事務取扱)

林 保良

診療科

総合診療科、内科、呼吸器内科、消化器内科、肝臓内科、消化器外科、循環器科、冠疾患集中治療室、リウマチ科、感染症科、精神科、神経科、神経内科、小児科、新生児科、外科、脳神経外科、脳血管外科、整形外科、形成外科、呼吸器外科、心臓血管外科、血管外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、婦人内視鏡科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線治療科、放射線診断科、麻酔科、集中治療部、歯科、歯科口腔外科、内視鏡室、血液透析室

検査科部長

杉浦 仁

担当課長

志村 真知子

薬剤部長

矢野 裕一

副薬剤部長

三井 みゆき

看護部長(兼務)

齊田 和子

副看護部長

副看護部長

副看護部長

大川 みゆき

佐川 孝子

岡本 朋江

食養科長

堀口 育子

教育指導部長

玉井 博修

地域医療部長(兼務)

竹中 信夫

担当部長(兼務)

神山 隆

担当課長

片谷 寿恵

臨床研究支援室長(事務取扱)

堀内 行雄

担当課長(兼務)

担当課長(兼務)

担当課長(兼務)

津村 和大

高橋 智常

稲部 真由美

担当部長(兼務)

矢野 裕一

手術部長(兼務)

竹中 信夫

MEセンター所長(事務取扱)

増田 純一

担当部長(兼務)

掛札 敏裕

担当部長(兼務)

森田 慶久

救命救急センター所長(兼務)

竹中 信夫

副所長(兼務)

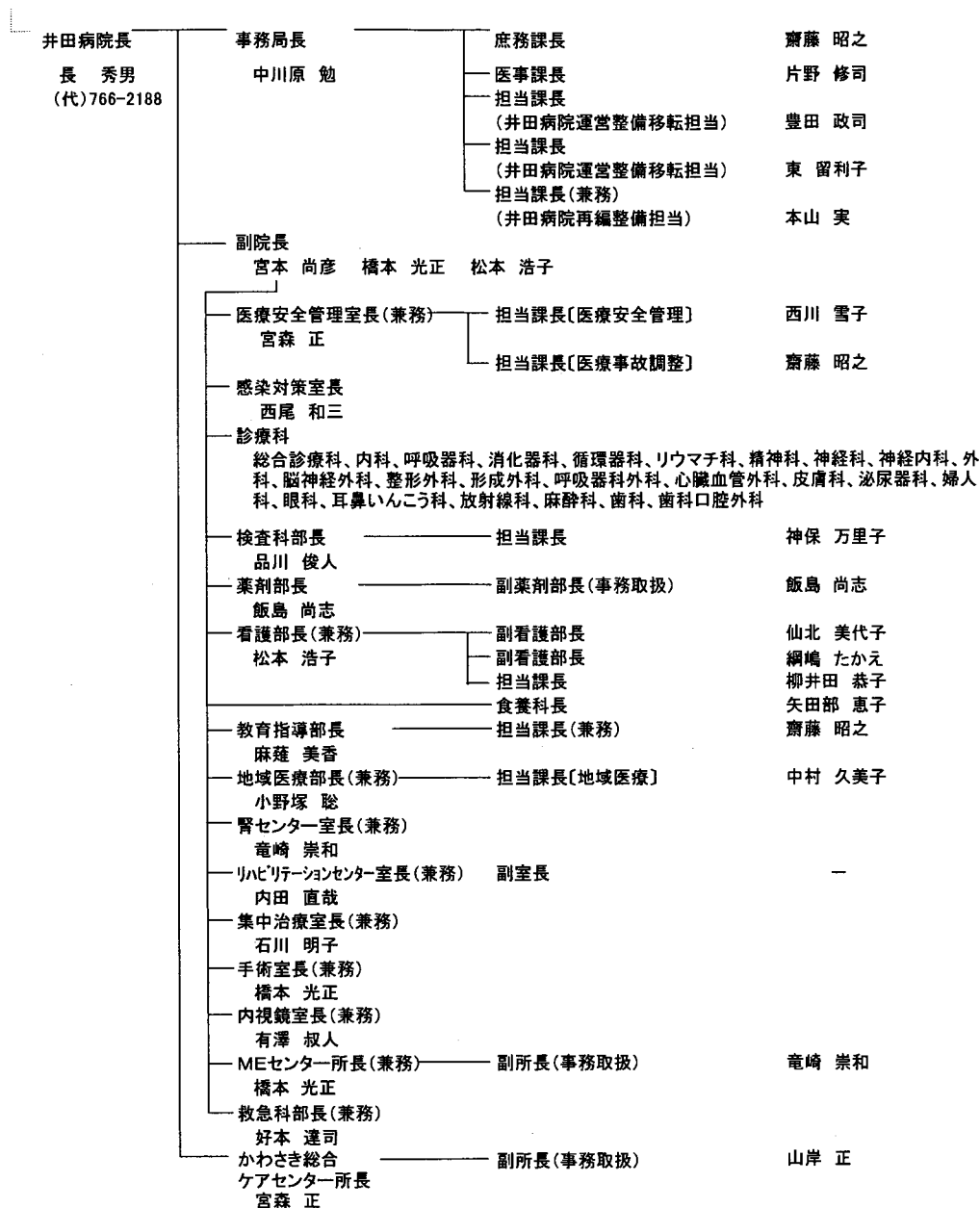
田熊 清継

救急科部長

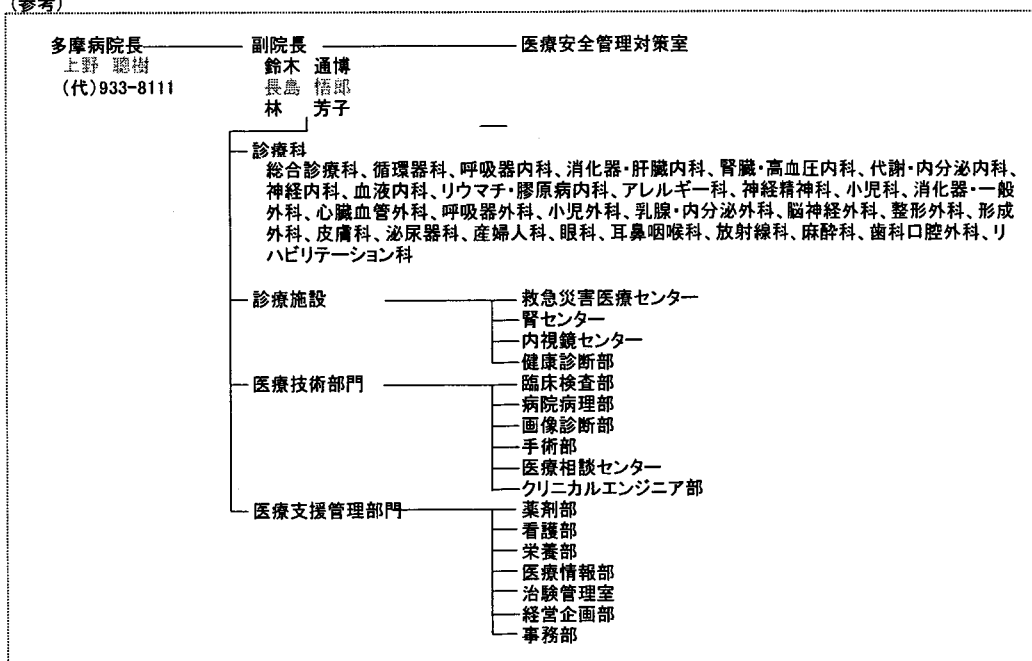
田熊 清継

小児急病センター室長

中尾 歩



(参考)



3 本庁業務概要（平成24年4月1日現在）

病 院 局（局長 三浦 政良）

総 務 部（部長 柄崎 智）

庶 務 課
（課長 山田 英正）

庶務人事係 … 局の庶務、人事、法規、文書、議会事務等
（係長 瀬川 裕）

労務厚生係 … 給与、福利厚生、職員安全衛生管理等
（課長補佐・係長 猪俣 聡）

医療安全管理担当 … 医療安全対策等
（担当係長 森 真二）

看護調整担当 … 看護師・助産師の募集、研修等
（担当課長 柳井田 恭子）

経営企画室（室長 稲葉 信彦）

経営企画担当
（担当課長 佐藤 佳哉）

経営企画担当 … 経営分析、経営改善等
（担当係長 渡邊 崇大）

経理担当
（担当課長 澁谷 雅彦）

経理担当 … 予算、決算、経理等
（担当係長 佐藤 功一）

契約担当 … 契約
（課長補佐 藤岡 亮太）

多摩病院運営管理担当
（担当課長 内藤 聡夫）

多摩病院運営管理担当 … 多摩病院の運営管理
（課長補佐 関 広文）

井田病院再編整備担当
（担当課長 本山 実）

井田病院再編整備担当 … 井田病院再編・整備
（課長補佐 水谷 晋一）

4 職員定数（平成24年4月1日現在）

(1) 特別職

病院事業管理者	1
---------	---

(2) 一般職

① 所属別職員定数

	所属	職員定数
病院局本庁	局長	1
	総務部長	1
	庶務課	12
	経営企画室	19
	小計	33
市立川崎病院	病院長	1
	副院長	4
	事務局長	1
	総務調整担当部長	1
	庶務課	16
	医事課	9
	医療安全管理室	2
	感染対策室	1
	診療科	157
	検査科	23
	薬剤部	22
	看護部	590
	食養科	6
	地域医療部	4
	救命救急センター	9
	小計	846
市立井田病院	病院長	1
	副院長	4
	事務局長	1
	井田病院運営整備移転担当	2
	庶務課	14
	医事課	7
	医療安全管理室	1
	感染対策室	1
	診療科	61
	検査科	19
	薬剤科	13
	看護部	247
	食養科	5
	地域医療部	3
	リハビリテーションセンター	7
	MEセンター	4
	救急科	1
	かわさき総合ケアセンター	6
	小計	397
合計		1,276

② 職種別職員定数

	職種	職員定数
一般職 (事務系)	一般事務職	82
	社会福祉職	6
	心理職	2
	小計	90
一般職 (技術系)	医師	173
	歯科医師	3
	薬剤師	35
	助産師	26
	看護師	821
	歯科衛生士	3
	栄養士	9
	臨床検査技師	39
	診療放射線技師	43
	理学療法士	10
	作業療法士	4
	言語聴覚士	3
	視能訓練士	3
	臨床工学技士	9
	電気職	2
	機械職	2
	ハウスキーパー	1
	小計	1,186
合計		1,276

5 病院事業の沿革

年 月	内 容
昭和 11年12月	伝染病院として、川崎市立病院開設（現川崎病院、病床数96床）
20年 6月	総合病院に切り替え、川崎市立川崎病院と改称
24年 3月	結核・伝染病院として、川崎市立井田病院開設（病床数50床）
39年 4月	地方公営企業法の一部適用（川崎病院）
40年 8月	川崎病院が救急病院に認定
43年 4月	地方公営企業法の一部適用（井田病院）
48年 4月	川崎市立三田病院開設（病床数66床）
53年 4月	病院事業部の設置
60年 1月	副院長2人制の導入（川崎病院）
平成 元年 4月	看護部制の実施
3年 3月	三田病院の廃止
6年 4月	経営担当理事の設置
9年 4月	衛生局と民生局が統合し、健康福祉局に機構改革
〃	病院事業部を廃止し病院事業課を設置
10年10月	かわさき総合ケアセンター開設
10年11月	川崎病院の新病棟・中央診療棟開設
11年 7月	病院事業が川崎市として初の包括外部監査を受ける。
12年 4月	川崎病院の新病棟・中央診療棟・外来診療部門の全面オープン
13年 1月	川崎病院新生児集中治療管理室（NICU）の休止
〃	川崎病院脳死判定による臓器摘出手術の実施
13年 3月	病院基本理念の策定
13年 4月	川崎駅川崎病院間の直通ワンコインバス運行開始
13年 7月	厚生労働省、神奈川県社会保険事務局及び神奈川県による特定共同指導（川崎病院）
14年 4月	職員の再任用制度の開始
〃	精神科救急24時間体制（川崎病院）
〃	川崎病院内に南部小児急病センターが開設
15年 4月	経営担当理事の廃止
〃	院外処方の実施（川崎病院）
15年 6月	院外処方の実施（井田病院）
16年 4月	健康福祉局に病院経営管理室を設置
〃	看護部長を副院長とし、副院長3人制を導入
17年 4月	地方公営企業法の全部適用
〃	病院局の設置
17年 7月	救急センターの設置（川崎病院）
〃	土曜日外来の実施（井田病院）

年	月	内 容
平成	17年 9月	日本初の西ナイル熱ウイルスの同定（川崎病院）
	18年 2月	多摩病院開設（病床数232床）
	18年 3月	川崎市病院事業経営健全化計画の策定
	〃	川崎市立井田病院再編整備基本構想の策定
	18年 4月	救命救急センター、放射線診断科、放射線診療科、集中治療部、薬剤部の設置（川崎病院）
	18年 8月	地域がん診療連携拠点病院の指定（井田病院）
	18年12月	患者送迎用シャトルバスの試行実施（井田病院）
	18年12月	ヘリポート夜間照明設備設置工事等の完了（川崎病院）
	19年 3月	川崎市立井田病院再編整備基本計画の策定
	19年 4月	多摩病院の全面オープン（病床数376床）
	〃	副院長4人制の導入（川崎病院）
	20年 6月	市内救急医療派遣事業の開始（川崎病院）
	21年 3月	第2次川崎市病院事業経営健全化計画の策定
	21年 4月	新生児集中治療管理室（NICU）の再開（川崎病院）
	21年 7月	川崎DMAT設置病院の指定（川崎病院）
	22年 4月	地域周産期母子医療センターの認定（川崎病院）
	〃	地域がん診療連携拠点病院の指定更新（井田病院）
	〃	臨床研究支援室の設置（川崎病院）
	22年11月	井田病院が救急病院に認定
	23年 2月	地域医療支援病院名称承認（多摩病院）
	24年 3月	第3次川崎市病院事業経営健全化計画の策定
	24年 5月	井田病院の新病院一部開院予定

6 市立病院の概要

(1) 川崎病院(川崎市川崎区新川通 12 番1号)

整備時期	整備内容
昭和 11 年 12 月	伝染病院として開設 (96 床)
平成 7 年 7 月 ～平成 10 年 11 月	病棟・中央診療棟建設
平成 10 年 12 月 ～平成 12 年 3 月	外来棟建設
平成 12 年 4 月 ～平成 13 年 3 月	外構整備
	鉄骨造・鉄骨鉄筋 コンクリート造 地下 1 階 地上 15 階
	延床面積 49,890.18 m²
	(敷地面積) 19,813.32 m²
	(駐車台数) 179 台
	(許可病床数) 733 床 一般病床 683 床
	感染症病床 12 床
	精神病床 38 床
	(診療科目) 内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、 リウマチ科、精神科、神経内科、小児科、外科、 脳神経外科、整形外科、形成外科、呼吸器外科、 心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、 眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、 放射線科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科 (25 科)
	(基本的医療機能) ・救命救急センター ・救急外来 (24 時間体制) ・小児救急医療 (小児急病センター) ・精神科救急医療 ・急性期・高度医療 ・感染症医療 ・災害時医療の南部拠点 ・地域医療機関との連携
	(運営形態) 公設公営方式

(2) 井田病院（川崎市中原区井田2丁目27番1号）

整備時期	整備内容									
昭和24年3月	結核・伝染病院として開設（50床）									
昭和35年5月	1号棟 完成									
昭和43年5月	1号棟増築完成									
昭和45年12月	2号棟 完成									
昭和50年3月	2号棟増築完成									
昭和50年7月	3号棟 完成									
	<table> <tr> <td>鉄筋コンクリート造</td><td rowspan="4">延床面積 31,599.54 m² (敷地面積) 36,702.04 m² (駐車台数) 175 台</td></tr> <tr> <td>地上4階</td></tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート造</td></tr> <tr> <td>地下1階、地上5階</td></tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート造</td><td></td></tr> <tr> <td>地下1階、地上4階</td><td></td></tr> </table>	鉄筋コンクリート造	延床面積 31,599.54 m ² (敷地面積) 36,702.04 m ² (駐車台数) 175 台	地上4階	鉄筋コンクリート造	地下1階、地上5階	鉄筋コンクリート造		地下1階、地上4階	
鉄筋コンクリート造	延床面積 31,599.54 m ² (敷地面積) 36,702.04 m ² (駐車台数) 175 台									
地上4階										
鉄筋コンクリート造										
地下1階、地上5階										
鉄筋コンクリート造										
地下1階、地上4階										
平成9年6月 ～平成10年10月	緩和ケア病棟完成 鉄筋コンクリート造 地上3階									
平成21年7月	井田病院改築工事着手									
	(許可病床数) 425 床 <table> <tr> <td>一般病床</td><td>385 床</td></tr> <tr> <td>結核病床</td><td>40 床</td></tr> </table>	一般病床	385 床	結核病床	40 床					
一般病床	385 床									
結核病床	40 床									
	(診療科目) 内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、 リウマチ科、精神科、神経内科、外科、 脳神経外科、整形外科、形成外科、呼吸器外科、 皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、 耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、 放射線科、麻酔科、歯科 (21 科)									
	(基本的医療機能) ・ 地域がん診療連携拠点病院 ・ 成人疾患医療 ・ 二次救急医療 ・ 結核医療 ・ 地域医療機関との連携 ・ 緩和ケア医療 ・ 在宅医療									
	(運営形態) 公設公営方式									

(3) 多摩病院 (川崎市多摩区宿河原 1 丁目 30 番 37 号)

整備時期	整備内容
平成 18 年 2 月	開設 (232 床) 病院棟 鉄骨・鉄筋コンクリート造(免震構造) 地下 2 階、地上 6 階、塔屋 1 階 駐車場棟 鉄筋コンクリート造 地下 3 階、地上 1 階 延べ面積 35,620.15 m²(うち駐車場棟 6,203.33 m²) (敷地面積) 14,260.73 m² (駐車台数) 178 台
平成 18 年 5 月	増床 (280 床) ※5/17～
平成 18 年 11 月	増床 (305 床) ※11/20～
平成 19 年 3 月	増床 (317 床) ※3/1～
平成 19 年 4 月	全面オープン (376 床) (許可病床数) 376 床 [一般病床 376 床 (診療科目) 内科、循環器科、精神科、小児科、外科、 脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、 泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、 リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、 アレルギー科、歯科口腔外科 (18 科) (基本的医療機能) ・救急外来 (24 時間体制) ・急性期・高度医療 ・災害時医療の北部拠点 ・地域医療機関との連携 (運営形態) 指定管理者方式 ・指定管理者 学校法人聖マリアンナ医科大学

7 業務状況

表1 入院患者数の推移

(単位:人)

			19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
川崎病院	一般病床	延べ	211,839	212,684	214,540	215,122	199,390
		一日平均	578.8	582.7	587.8	589.4	544.8
	感染症病床	延べ	0	0	194	0	0
		一日平均	0.00	0.00	0.53	0.00	0.00
	精神病床	延べ	12,358	12,585	12,685	12,260	11,062
		一日平均	33.8	34.5	34.8	33.6	30.2
	計	延べ	224,197	225,269	227,419	227,382	210,452
		一日平均	612.6	617.2	623.1	623.0	575.0
井田病院	一般病床	延べ	105,954	109,509	110,797	109,598	106,895
		一日平均	289.5	300.0	303.6	300.3	292.1
	結核病床	延べ	8,617	8,753	8,950	8,215	8,316
		一日平均	23.5	24.0	24.5	22.5	22.7
	計	延べ	114,571	118,262	119,747	117,813	115,211
		一日平均	313.0	324.0	328.1	322.8	314.8
多摩病院(※)	一般病床	延べ	112,543	111,288	109,727	107,933	110,691
		一日平均	307.5	304.9	300.6	295.7	302.4
合 計		延べ	451,311	454,819	456,893	453,128	436,354
		一日平均	1,233.1	1,246.1	1,251.8	1,241.4	1,192.2

※ 多摩病院における平成23年度の数値は、速報値

図1 入院患者数の推移

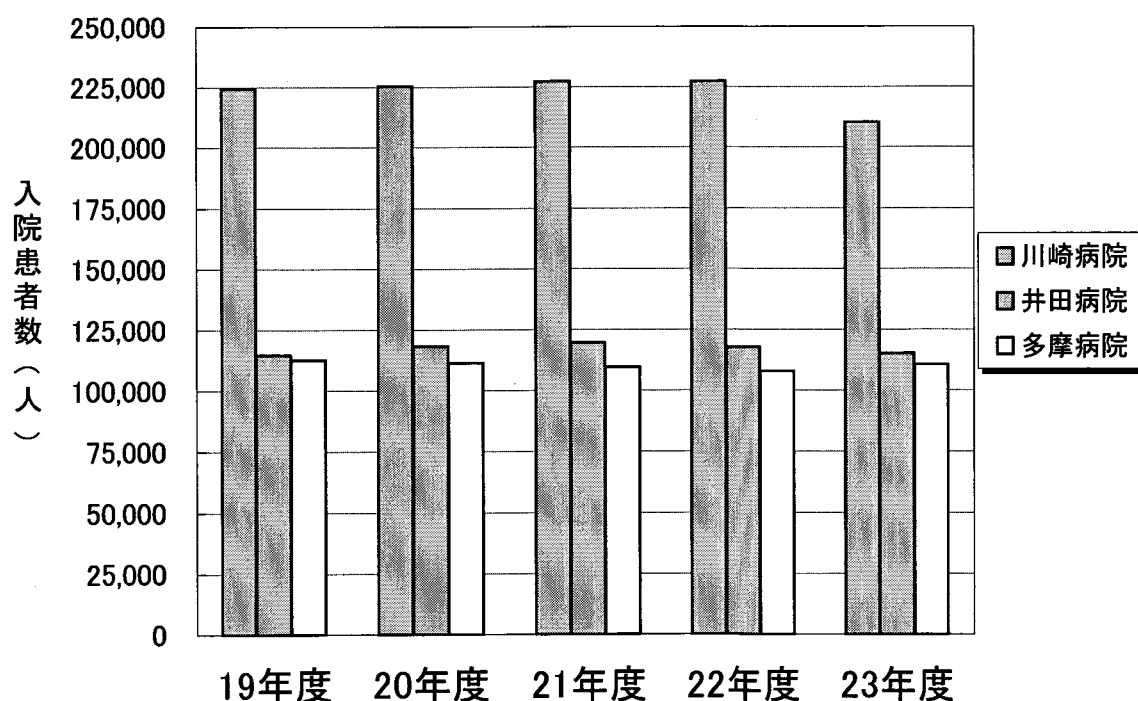


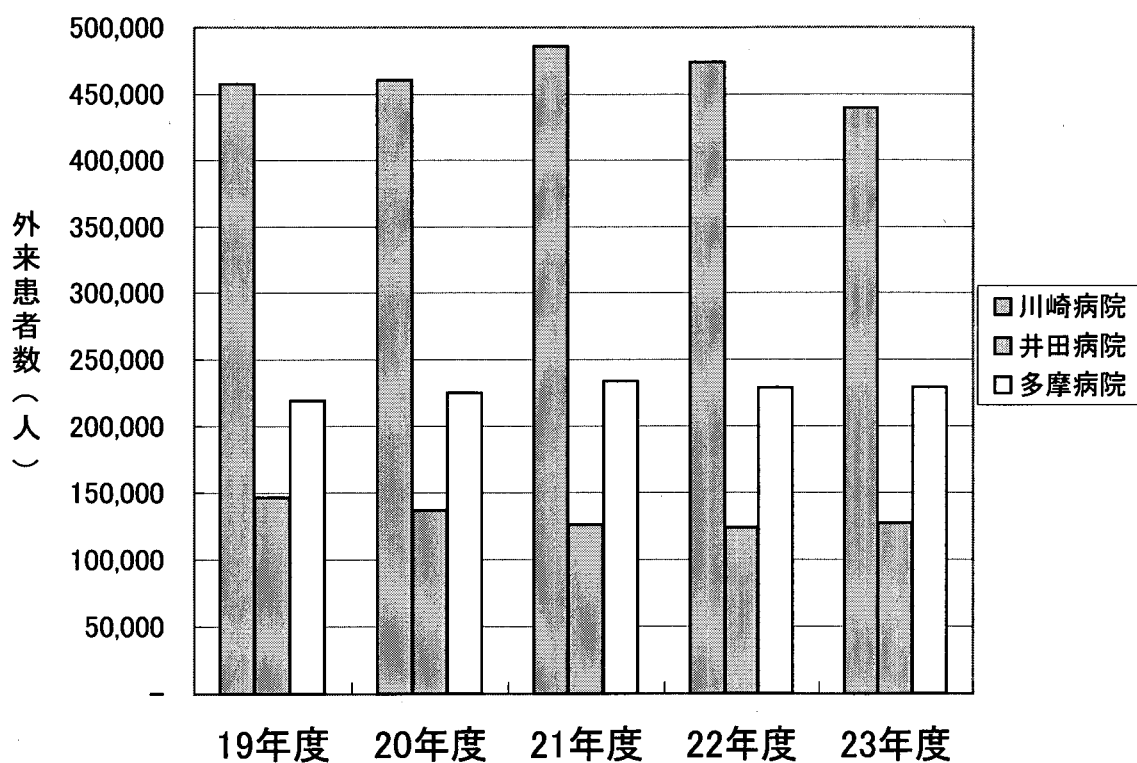
表2 外来患者数の推移

(単位:人)

		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
川崎病院	延べ	457,578	460,143	486,079	474,171	439,237
	一日平均	1,867.7	1,893.6	2,008.6	1,951.3	1,800.2
井田病院	延べ	146,540	136,733	126,134	123,455	127,283
	一日平均	598.1	562.7	521.2	508.0	521.7
多摩病院(※)	延べ	218,943	224,751	233,530	228,519	228,851
	一日平均	804.9	829.3	864.9	843.2	844.5
合 計	延べ	823,061	821,627	845,743	826,145	795,371
	一日平均	3,270.7	3,285.6	3,394.7	3,302.6	3,166.3

※ 多摩病院における平成23年度の数値は、速報値

図2 外来患者数の推移



8 平成24年度予算実施計画

収益的収入及び支出

収 入

款	項	目	予 定 額 (千円)	備 考
1 病 院 事 業 収 益	1 医 業 収 益		30,600,506	
			24,186,437	
		1 入 院 収 益	15,136,722	入院診療収益
	2 医業外収益	2 外 来 収 益	6,175,537	外来診療収益
		3 そ の 他 医 業 収 益	2,874,178	室料差額収益、一般会計負担金等
			6,412,365	
	1 受 取 利 息 配 当 金		784	預金利息
		2 他 会 計 補 助 金	1,618,220	一般会計補助金
		3 補 助 金	68,436	国・県補助金
		4 負 担 金 交 付 金	3,934,461	一般会計負担金
		5 患 者 外 給 食 収 益	2,594	患者外給食収益
		6 そ の 他 医 業 外 収 益	787,870	その他医業外収益
	3 特 別 利 益		1,704	
		1 固 定 資 産 売 却 益	2	固定資産売却差益
		2 過 年 度 損 益 修 正 益	1,702	過年度損益修正益

支 出

款	項	目	予 定 額 (千円)	備 考
1 病 院 事 業 費 用	1 医 業 費 用		32,937,788	
			31,511,748	
		1 給 与 費	13,968,192	職員の給料、手当等
		2 材 料 費	4,988,177	薬品費、診療材料費、給食材料費等
		3 経 費	7,376,182	経営に要する諸経費
		4 減 価 償 却 費	4,291,057	固定資産減価償却費
	2 医業外費用	5 資 産 減 耗 費	765,881	固定資産除却費等
		6 研 究 研 修 費	122,259	学会出張旅費、図書費、研修受講料等
			1,303,342	
	1 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費		1,245,137	企業債利息等
		2 患 者 外 給 食 材 料 費	2,827	患者外給食材料費
		3 消費税及び地方消費税	55,374	消費税及び地方消費税納付額
		4 雑 損 失	4	雑損失
	3 特 別 損 失		112,698	
		1 固 定 資 産 売 却 損	2	固定資産売却差損
		2 過 年 度 損 益 修 正 損	112,696	過年度損益修正損
	4 予 備 費		10,000	
		1 予 備 費	10,000	予備費

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

款	項	目	予 定 額 (千円)	備 考
1 病院事業資本の収入	1 企 業 債		2,676,298	
			2,095,000	
		1 企 業 債	2,095,000	病院施設整備事業債、 医療器械整備事業債
	2 固定資産売却代金		2	
		1 固定資産売却代金	2	固定資産売却代金
	3 補 助 金		2	
		1 補 助 金	2	国庫補助金
	4 負 担 金		581,294	
		1 他 会 計 負 担 金	581,294	一般会計負担金

支 出

款	項	目	予 定 額 (千円)	備 考
1 病院事業資本の支出	1 建 設 改 良 費		5,734,269	
			2,414,949	
		1 病院整備事業費	1,468,729	病院施設整備事業
		2 改 良 費	270,752	施設改良に要する費用
		3 医療器械整備費	642,939	高額医療器械購入費
		4 資 産 購 入 費	32,529	医療器械購入費等
	2 企業債償還金		3,319,320	
		1 企業債償還金	3,319,320	企業債償還元金